VISION

取扱説明書

盗難発生警報装置
1770S

HIGH GRADE PAGER SECURITY

注 意 ！

本製品は盗難防止を目的としたシステムですが、本製品の作動の有無に関わらず盗難等の被害が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

本説明書は全ての機能が正しく取付けられている事を前提に解説されています。

ご使用のシステムにどのような拡張機能（オプション）が取り付けられているかは、取付を行った販売店へご確認ください。

新保安基準適合

Ver.26109WEB

目　次

はじめに

この度はVISION1770Sハイグレードアンサーバックセキュリティをお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書をお読みいただき、正しい取扱い方法によりご使用いただきますようお願いします。また、本書は読んだ後も大切に保管してください。

ページャーの取扱いに関する注意事項

注 意 ！

※ TR53A-7Xページャーリモコンは振動や衝撃、圧迫に対して非常にデリケートな製品です。

※ 小さな振動や衝撃、圧迫でも長時間に渡り連続／断続的に加えられた場合にはページャーリモコンは破損します。破損は「アンテナの折れ」、「液晶の割れ」、「送受信基板の不具合による通信不良」等様々な状態が発生し得ます。

※ 振動や衝撃、圧迫により破損した場合の主な症状としては「アンサーバック（通知）しなくなる」、「液晶表示がおかしくなる」等があげられます。

※ アルカリ電池はその性質上過放電が起きた場合には液漏れを起こします。一旦液漏れが発生すると、ページャーリモコンの内部回路や部品がその液により腐食し修理による性能の回復が困難となります。
ページャーリモコンを長期間使用しない場合には電池を抜いた状態で保存するようにしてください。残量の少ない電池を入れたまま2週間以上放置したり、電池残量の少ない状態で使用し続けたりすると過放電により液漏れを起こす危険度が高くなります。

※ ページャーリモコンには充電式電池は使用できません。かならずアルカリ乾電池を使用してください。

※ ページャーリモコンは精密機器であるためホコリがページャー内部に侵入すると故障の原因となります。ページャーをポケットの中等ホコリの多い場所での保管は極力避けるようにしてください。

※ 上記のような故障は保証期間内であっても有償修理となります。

リモコンの各部名称と役割

ボタン操作早見表

機能	ボタン操作	
セット／解除（確認チャープ音有）	Ⅰ	短押
サイレントモードによるセット/解除(確認チャープ音無)	Ⅱ	短押
消音セット／解除(確認チャープ音無)	Ⅲ	短押
センサーバイパスモードのセット	Ⅰ&Ⅱ	短押
センサーバイパスモードから通常モードへの切替え	Ⅰ&Ⅱ	長押
ドア・ロック／アンロックのみの操作	Ⅱ&Ⅲ	短押
パニックサイレンスタート	ⅠorⅡorⅢ	長押
車両状況確認	[外部出力]	短押
外部出力信号（トランクリリース）	[外部出力]	長押
バックライト	F	短押
バレーモードON	Ⅱ&Ⅲ&[外部出力]	長押
バレーモードOFF	Ⅱ&Ⅲ&[外部出力]	短押
バイブモード／メロディモード	F&Ⅱ	短押
パワーセーブモードON／OFF	F&Ⅰ	短押

液晶表示アイコンについて

1. 消音
2. メロディモード
3. セット／ロック
4. 解除／アンロック
5. トランク検知／トランク開
6. エンジン始動検知
7. ページャー電池残量
8. バレーモードON
9. バイブモード
10. ドア開／閉
11. ボンネット開／閉（ｵﾌﾟｼｮﾝ）
12. 強衝撃検知／衝撃ｾﾝｻｰﾊﾞｲﾊﾟｽ
13. 弱衝撃検知
14. 呼出通知（オーナーコール）
15. 受信回路スタンバイ
16. 送信回路スタンバイ
17. 受信圏内表示
18. 信号送出表示
19. パワーセーブモード
20. カウントダウンタイマー
21. アラーム時計モード
22. AM表示
23. PM表示
24. 時刻表示
25. 車内温度表示
26. 温度計単位（℃）

ヒント

通常の状態ではページャーの液晶表示（アイコン）は約２秒に１回点滅します。

ページャーリモコンの設定

時計／アラーム／タイマー機能の設定

ページャーリモコンには時計機能があります。電池交換の際には時計を設定し直す必要がありますので、下記方法を参照して時計を設定してください。また、時計にはアラーム機能やカウントダウンタイマー機能があります。
時計／アラーム／タイマーの設定はまず F ボタンを長く押し時計設定モードに入ります。その後下記表の操作欄の回数ボタンを短く押す事で各設定を行う事ができます。

機能	操作	ｱｲｺﾝ表示	時間の設定をするには
時計の設定／「時」調整	Fを長押し	AM 12:00 ②	ボタンを押すごとに時間の増加またはON設定できます。ボタンを押したままにすることで早く増加できます。
時計の「分」調整	F1回押し	AM 12:00 ③	
アラームの「時」調整	F2回押し	AM 12:00 ②	
アラームの「分」調整	F3回押し	AM 12:00 ③	
アラームのON/OFF	F4回押し	OFF	IIIボタンを押すごとに時間の減少またはOFF設定できます。ボタンを押したままにすることで早く減少できます。
タイマーの「時」調整	F5回押し	0:00 ②	
タイマーの「分」調整	F6回押し	0:00 ③	
タイマーのON/OFF	F7回押し	OFF	

簡易カウントダウンタイマー機能

F ボタンを押しながら ボタンを短く押すことにより10分、20分、30分、60分、90分、120分のカウントダウンタイマーを簡単に使用できます。使い方は、設定したい時間が表示されるまで F ボタンを押しながら ボタンを短く押します。使いたい時間が表示されたら（時間とカウントダウンタイマーを示す砂時計アイコンが表示されます。0: 10）そのままにします。この時点でカウントダウンタイマーがスタートします。

※ 時計／アラーム／タイマーの各機能は本システムの機能とは関係ありません

メロディーモードとバイブモードの切替え

ページャーリモコンには車両からのアンサーバックを音で知らせるメロディーモードと振動によって伝えるバイブモードとがあります。
それぞれのモードは F ボタンを押しながら II ボタンを短く押すたびに入れ替わり、メロディーモードが選択されるとメロディが流れバイブモードが選択されると一度振動します。

ページャーリモコンの設定（続き）

パワーセーブ機能

ページャーリモコンの受信機能はシステムのセット／解除にかかわらず常にONの状態になっています。システムが解除になっていて長時間アンサーバックを受信する必要がない場合にこの受信機能をOFFすることによりページャーの電池寿命を長くする事ができます。
この機能を使うには必ずシステムが解除になっている必要があります！
まず F ボタンを押しながら I ボタンを押します。
液晶画面に SAVE アイコンが表示されページャーのパワーセーブモードがONになったことを知らせます。最後にページャーのボタンを押してから２分後にページャーの受信器がOFF状態になり、受信圏内表示アイコン（アンテナアイコン）が消え受信器がOFFになった事を知らせます。この時同時に受信回路スタンバイアイコン も消えます。

ヒント

パワーセーブモード中でもページャーのボタンを押すと一時的に受信機能はON状態になります。SAVEアイコンが表示されている状態でシステムが解除状態であれば２分以上ページャーのボタン操作をしなければ自動的にページャーの受信機能はOFF状態にもどります。

SAVEアイコンが表示されていても<u>システムがセット中</u>は受信機能はOFFになりません。

パワーセーブモードを終了し通常モードに戻すにはもう一度 F ボタンを押しながら I ボタンを押します。

バックライト機能

ページャーリモコンには暗所などで液晶画面を見やすくするためのELバックライトが装備されています。ELバックライトはシステム発報状態のアンサーバック時に自動的に点滅します。車両状況の確認を行った際にもアンサーバック受信時に自動的に点灯します。ELバックライトだけを点灯し、他の操作をしたくない場合には F ボタンを一度短く押します。ELバックライトが約５秒間点灯します。

ページャーの電池交換

ページャーの電池残量が少なくなると液晶画面に アイコンが表示されます。 アイコンは通常、ボタン操作をおこなったに際に警告音と同時に表示されることがほとんどです。
ページャーリモコンはアルカリ単４乾電池を使用します。電池交換の際にはページャーリモコンから電池を抜いた後一旦 ボタンを押してから電池を入れてください。
電池を挿入後は時計等の設定を行ってください。

セキュリティをセットする

通常の(リモコンボタンⅠによる)セット

リモコンの Ⅰ ボタンを1回短く押します。

車両側動作

チャープ音が1回発せられ威嚇用LED(以降LED)が点灯し、ハザードが1回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがロックされます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。この時ハザードの点滅が一回行われると同時に動作中出力(GWA)の出力が開始されシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り(バイブモードでは振動1回)セキュリティがセットされた事を知らせます。

サイレントモードの(リモコンボタンⅡによる)セット

リモコンの Ⅱ ボタンを1回短く押すことにより、セキュリティをサイレントモードでセットすることが出来ます。サイレントモードとはシステム警戒時に異常が検知された場合に車両でのサイレンは一切鳴らさず、ハザードの点滅だけで車両の異常を周りに伝えるモードです。

車両側動作

LEDが点灯し、ハザードが1回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがロックされます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。この時ハザードの点滅が一回行われると同時に動作中出力(GWA)の出力が開始されシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画の面表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時に長音が1回鳴り(バイブモードでは振動1回)セキュリティがサイレントモードでセットされた事をしらせます。また、同時に「サイレントモードアイコン 」が表示されます。

警戒中表示に変化
同時にサイレントモード表示

消音の（リモコンボタンⅢによる）セット

リモコンの Ⅲ ボタンを1回短く押すことにより、確認チャープ音を消しながらセキュリティをセットする事ができます。警戒中の動作は通常セットの場合と同じです。

車両側動作

LEDが点灯し、ハザードが1回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがロックされます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。この時ハザードの点滅が一回行われると同時に動作中出力（GWA）の出力が開始されシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り（バイブモードでは振動1回）セキュリティがセットされた事を知らせます。

警戒中表示に変化

センサーバイパスモードの（リモコンボタンⅠ＋Ⅱ）セット

リモコンの Ⅰ と Ⅱ ボタンを同時に押すと、システムをセンサーバイパスモードでセットすることができます。センサーバイパスモードとは衝撃センサーやオプションセンサー（別売）を一時的に検知しないようにシステムをセットするモードです。それ以外の車両側動作は通常モードと同じです。

Ⅰ & Ⅱ
を同時に押します。

車両側動作

チャープ音が1回発せられ威嚇用LED(以降LED)が点灯し、ハザードが1回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがロックされます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。この時ハザードの点滅が一回行われると同時に動作中出力（GWA）の出力が開始されシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り（バイブモードでは振動1回）セキュリティがセットされた事を知らせます。この時センサー類がバイパス状態にある事を知らせる アイコンも同時に表示されます。

この部分が点滅
警戒中表示に変化

セキュリティをセットする（続き）

オートアーム機能によるセット …（機能設定した場合のみ）

イグニッションOFF後、最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると自動的にセキュリティがセットされます。（ドアロックは行いません）

車両側動作

チャープ音が1回発せられ威嚇用LED(以降LED)が点灯し、ハザードが1回点滅します。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。この時ハザードの点滅が一回行われると同時に動作中出力（GWA）の出力が開始されシステムが警戒を始めたことを知らせます。
ドアロックはされません

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が１回鳴り（バイブモードでは振動１回）セキュリティがセットされた事を知らせます。

警戒中表示に変化

ドアロックは行われないため鍵マークのアイコンは解錠の状態のままとなります

オートリアーム機能によるセット …（機能設定した場合のみ）

セキュリティ解除後30秒以内にドアが開けられない場合には自動的にセキュリティが再セットされます。

車両側動作

チャープ音が1回発せられ威嚇用LED(以降LED)が点灯し、ハザードが1回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがロックされます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。この時ハザードの点滅が一回行われると同時に動作中出力（GWA）の出力が開始されシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が１回鳴り（バイブモードでは振動１回）セキュリティがセットされた事を知らせます。

警戒中表示に変化

ヒント

どの方法でセキュリティをセットしても、LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションを回してもサイレンは鳴動しません。

セキュリティセット時の異常

エラーチャープ

セキュリティ警戒セット時既にいずれかのセクター(監視箇所)に信号入力がある場合、警戒セット時またはセットから5秒後に異常を知らせます。この際ページャー側では信号を検知したセクターを表示します。
セット時に通常のチャープ音以外の音が鳴った場合には異常のあった箇所を正常に戻してください。

エラーチャープは異常箇所により次のような動作を行います。

ドアが開いた（半ドア）状態の時

警戒セット時から5秒後にチャープ音を２回発し、２回のハザード点滅を行います。

ページャーリモコン側動作

ページャーでチャープ音が２回鳴り、液晶画面にドア開アイコンが表示されます。

☞ ドアを閉めてください。ドアを閉めると同時に車両からチャープ音が発せられ、ドアが閉められた事を知らせます。

ドア以外（トランク、ボンネット、センサー）の信号が入力されている時

警戒セット時にチャープ音を4回発し、4回のハザード点滅を行います。

ページャーリモコン側動作

ページャーでチャープ音が4回鳴り、液晶画面に異常箇所のアイコンが表示されます。

☞ 異常箇所を点検してください。異常箇所を正常な状態に戻す（例えばトランクが開いている場合ではトランクを閉める）と同時に車両からチャープ音が発せられ、異常を示すアイコン表示がなくなります。

注意！

※ セット時既に信号入力があったセクターは正常な状態に戻されるまでバイパスされ、それ以外のセクターは正常に作動します。また、異常を示したセクターもセット状態を継続した状態で正常な状態に戻せばその後は正常に作動します。
ただし、ドアやトランク、ボンネット等を閉める際に衝撃が発生すると衝撃センサーにより警告／警報が発せられる可能性があります。誤報を避けるため一旦システムを解除し、反応のあったセクターを正常に戻した後再度セットするようにしてください。

※ サイレントまたは消音によるセットを行った場合でもセット時に異常信号入力がある場合には必ずエラーチャープが発せられます。

※ セクターとは監視箇所(ドア、トランク、ボンネット、センサー、IG)の総称です。

セキュリティを解除する

通常の(リモコンボタンⅠによる)解除

リモコンの Ⅰ ボタンを1回短く押します。

車両側動作

チャープ音が3回発せられ威嚇用LED(以降LED)が消灯し、ハザードが3回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがアンロックされます。また同時に動作中出力(GWA)の出力が停止します。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「警戒中」から「解除中」に変わり、同時にチャープ音が2回鳴り(バイブモードでは振動2回)セキュリティが解除された事を知らせます。

消音解除(リモコンボタンⅡまたはⅢによる操作)

Ⅱ or Ⅲ
を一回押す。

リモコンのⅡまたはⅢボタンを1回短く押すことにより、確認チャープ音を消しながらセキュリティを解除する事ができます。

車両側動作

威嚇用LED(以降LED)が消灯し、ハザードが3回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがアンロックされます。また同時に動作中出力(GWA)の出力が停止します。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「警戒中」から「解除中」に変わり、同時にチャープ音が2回鳴り(バイブモードでは振動2回)セキュリティが解除された事を知らせます。

セキュリティを解除する（続き）

緊急（緊急リセットコードによる）解除

本製品は電池切れや紛失等でリモコンが使用不可能な場合に、緊急リセットによりシステムをリセット(解除)することができる機能を搭載しています。

緊急リセットコードは下記のように２桁（２つ）の数字によって構成されます。緊急リセットコードを使用した解除は必ず十の位と一の位を順番に操作する必要があります。

十の位	一の位
X（工場出荷時"1"）	Y（工場出荷時"1"）

※ 緊急リセットコードは製品購入後任意の数に変更してください。

手順	緊急リセットコードによる解除手順
1	イグニッション・キーをONポジションへ動かします
2	プログラムスイッチを「十の位の数」だけ押します（１～４）
3	イグニッション・キーOFFポジションへ戻します
4	イグニッション・キーONポジションへ動かします
5	プログラムスイッチを「一の位の数」だけ押します（１～４）
6	イグニッション・キーをOFFポジションへ戻します
入力したコードが正しければシステムが解除されます。	

その他の操作

ダイレクトドアロック及びバレーモード中のボタン操作

通常モード時は Ⅱ ＆ Ⅲ を同時に短く押すことでセキュリティをセットせずにドア・ロック／アンロックのみをコントロールすることができます。
バレーモード時は Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、いずれのボタン操作でもドアロックのコントロールのみが行われます。

警戒中のシステム動作

ドア検知

車両側動作

ドアが開けられると30秒間またはリモコンで停止されるまで異常発報します。ドアによるサイレンは一回のセットで最大１０回までです。その後はシステムを再セットするまでドア開けによるサイレンは発報しません。

ページャーリモコン側動作

液晶画面上の車両ドア部分の点滅と同時にサイレンが鳴り（バイブモードでは振動と音が交互）、車両ドアに異常が発生したことを知らせます。

トランク検知

車両側動作

トランクが開けられると30秒間またはリモコンで停止されるまで異常発報します。トランクによるサイレンは一回のセットで最大１０回までです。その後はシステムを再セットするまでトランク開けによるサイレンは発報しません。

ページャーリモコン側動作

液晶画面上の車両トランク部分の点滅と同時にサイレンが鳴り（バイブモードでは振動と音が交互）、車両ドアに異常が発生したことを知らせます。

ボンネット検知　（オプション）

車両側動作

ボンネットが開けられると30秒間またはリモコンで停止されるまで異常発報します。ボンネットによるサイレンは一回のセットで最大１０回までです。その後はシステムを再セットするまでボンネット開けによるサイレンは発報しません。

ページャーリモコン側動作

液晶画面上の車両ボンネット部分の点滅と同時にサイレンが鳴り（バイブモードでは振動と音が交互）、車両ドアに異常が発生したことを知らせます。

セキュリティ警戒中のエンジン始動検知

機能選択表のIIPトリガーのモード選択(17頁モード選択表参照)により下記2種類の動作を行います。

Ⅰ プロテクトモード（エンジンスタータ非対応）：

車両側動作

エンジンがかけられると30秒間またはリモコンで解除されるまで異常発報します。
イグニッションをONにしたままにするとサイレンは最大で10回鳴り、１１回目からはサイレンは鳴動しません。

警戒中のシステム動作（続き）

Ⅱ エンジンスターター／ターボタイマー対応モード：

車両側動作

エンジンがかけられるとセンサー信号はエンジン停止まで無視されます。ただし、このモードが選択されている場合であってもドア検知信号線は引き続き監視されますので、ドアが開けられた場合には異常発報が行われます。

ページャーリモコン側動作

いずれのモードでもセキュリティ警戒中にエンジンが始動されると液晶画面上の車両後部タイア後方に「エンジン始動アイコン」が表示されます。

※ プロテクトモードではアイコン表示と同時にサイレンが鳴り（バイブモードでは振動と音が交互）、エンジンが不正に始動されたことを知らせます。

※ スターター対応モードでは、エンジン始動時と停止時にメロディが流れます。

エンジン始動を通知

インテリジェントIGプロテクト

インテリジェントIGプロテクト（IIP）機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア信号またはオプションセンサー信号により異常発報すると、その後再度警戒セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

動作確認LED

警戒中は通常3秒に1回のゆっくりした点滅を行います。サイレンが鳴動するとサイレン鳴動中は消灯します。サイレンが停止し通常の警戒状態になると再度通常の3秒に1回のゆっくりした点滅を行います。

GWA（動作中出力）

セキュリティセット中にアースが連続して出力されます。ルミネーター等のオプション(別売)をコントロールする場合に使用します。

車両状況確認機能

ページャーリモコンの ボタンを短く一度押す事によりその時点での車両状況（セクターの状況）を確認することができます。

ハイセキュリティサイレンストップ

車両で異常が発生し異常発報またはパニックによる発報をしている場合、ページャーのボタンを1回押すとまずページャーでのサイレンが停止されます。その後更にもう一度ページャーのボタンを押すと車両側での異常発報が停止され、警戒は継続されます。セキュリティを解除したい場合には異常発報していない状態で Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、のいずれかのボタンをもう一度押す必要があります。

警戒中のシステム動作（続き）

センサー検知

シングルステージ：（弱衝撃）

車両側動作

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーからの警告信号が入力されるとチャープ音が5回鳴り(サイレントモードでは鳴りません)、ハザードが6回点滅します。
※センサーバイパスモードでは反応しません。

ページャーリモコン側動作

液晶画面上の車両ヘッドライト部分の点滅と同時に警告音が10回鳴り（バイブモードでは振動3X10回）、車両に弱い振動が加えられたことを知らせます。

点滅

デュアルステージ：（強衝撃）

車両側動作

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーからの警報信号が入力されると15秒間またはリモコンで停止されるまで異常発報します(サイレントモードでは鳴りません)。
※センサーバイパスモードでは反応しません。

ページャーリモコン側動作

液晶画面上の車両フロントガラス部分のハンマーアイコンの点滅と同時にサイレンが鳴り（バイブモードでは振動と音が交互）、車両に強い振動が加えられたことを知らせます。

この部分が点滅

ヒント

異常発報とはシステムが異常を検知し、サイレン鳴動やハザードフラッシュを行う事です。セキュリティが通常セットされている場合には15秒間のサイレン鳴動と、ハザードフラッシュを行います。サイレントモードでのセット時にはハザードフラッシュのみとなります。

その他の機能

（ー）外部出力機能 （オプション）

ページャーリモコンの ボタンを長押しすることで（ー）外部チャンネル信号を出力することができます。この信号はリモコンによるトランクオープン機能などに使用することができます。

ハザードの点滅

セキュリティセット時→1回点滅、警戒開始時→2回点滅、サイレン鳴動中→30秒間点滅、警戒解除時3回点滅、警告時→5回点滅、エラーチャープ時→2回点滅、状態確認時→3回点滅。

その他の機能（続き）

セクターバイパス（SBS）機能

同じセクターにより10回異常発報した場合、そのセクターは周囲への迷惑を防止するため11回目以降はバイパスされ反応しなくなります。バイパスを解除するには一度システムを解除し、再度警戒状態にセットする必要があります。
※セクターとはドア、トランク、ボンネット、IG、センサー等の監視箇所のことです。

（トリガー）メモリー機能

セキュリティ解除時に異常のあった箇所がページャーの液晶画面に表示されます。

半ドア警告機能

IG（イグニッション）がONの状態でドアを開けるとLEDが点滅し始めドアが開いた状態であることを知らせます。LEDの点滅はドアを閉じると止まります。
☞機能設定（１７頁参照）の７番をONにするとハザードも点滅します。

バレーモード機能

本システムには長期間セキュリティを使用しない場合や、車両をメンテナンス等に出すためにセキュリティが一切働かないようにすることができるバレーモード機能が搭載されています。
バレーモードの設定方法は Ⅱ ボタン& Ⅲ ボタン& を同時に長押します。液晶画面にzzが表示され、車両側ではLEDが点灯しシステムがバレーモードになったことを知らせます。
バレーモードを終了したい場合には Ⅱ ボタン& Ⅲ ボタン& を同時に短く押してください。液晶画面からバレーモードを示す表示が消え、車両ではLEDが消灯しバレーモード終了を知らせます。
※ バレーモード中にリモコンによる操作を行うとドアのロック／アンロック機能のみが動作します。

通信圏表示機能

ページャーリモコンのボタン操作を行うと アイコンが液晶画面に表示され、ページャーと車両が通信圏内にある事を表示します。システムをセットした後車両から離れ、その場所が通信圏内にあるかどうかをチェックするには ボタンを一度短く押します。通信圏内であれば現在の車両状況とともに アイコンが表示されます。 アイコン表示が消えてしまう場合は通信圏外であることを示しています。

オーナーコール機能

車載アンテナユニットの中央にある「CALL」ボタンを押す事によりページャーリモコンに対して呼び出しコールを行う事ができます。

各種機能の設定

本製品はお客様のご使用環境に、より適応させるための機能を準備しています。機能選択の方法は以下のとおりです。

1. リモコンを使って一度セキュリティをセットした後すぐに解除します。
2. 解除後10秒以内にイグニッション・キーをONポジションへ動かしそのままにします。
3. 上記操作終了後ただちにプログラムボタンを6回押します。
4. すぐにイグニッション・キーをOFFポジションへ戻します。

   →チャープ音が6回鳴り、機能選択モードになった事を知らせます。

5. 下記表に従って設定したい機能の番号分プログラムスイッチを押してください。プログラムスイッチを一回押す毎に一度短いチャープ音が発せられます。（それぞれ5回と10回では回数分の短いチャープ音ではなく1度長いチャープ音が発せられます。）
6. 変更したい機能を選択したら、下記表に従って使用したい設定に対応したページャーリモコンのボタンを押してください。

   →チャープ音が設定した内容に対応した数だけ鳴ります。

7. イグニッション・キーを一度ON、OFFして設定の完了です。

機能選択表：

回数	選択機能	手順5終了後選択したい設定のアイコンを押す			
		I 確認音1回	II 確認音2回	III 確認音3回	確認音4回
1	サイレン or ホーン	サイレン	ホーン1	ホーン2	ホーン3
2	ドアロック信号選択	0.8s	5s	ダブル	ロック30s
3	イグニッション連動ドアロック	OFF	※1	※2	※3
4	オート・アーム／リアーム	※4	※5	※6	OFF
5	Exit ディレイタイムセレクション	5s	30s	60s	15min
6	リモートスタート中確認動作	OFF	フラッシュ		
7	IG ON中ドア開検知	OFF	ON	ON	ON
8	自動スタータ停止機能	OFF	ON	ON	ON
9	スタータ停止リレーN.C. or N.O	N.C.	N.O.	N.O.	N.O.
10	IIPトリガー（エンスタ対応条件）	OFF	対応※7	対応※8	
11	エクステリアイルミネーション	ON	OFF		

※　上記表中の注釈※1～※8の説明は次ページ以降の各機能の説明を参照のこと
※　濃灰色背景の項目は工場出荷時の設定

機能選択項目説明

1. サイレン or ホーン

「**サイレン**」を選択した場合、チャープ時の信号長は20msです。警報時のサイレン出力は３０秒間の連続した信号となります。
「**ホーン1**」を選択した場合、チャープ時の信号長は30msです。また警報時のサイレン出力は３０秒間の間に６秒の連続した信号と２秒間の休止を繰り返します。

「**ホーン2**」を選択した場合、チャープ時の信号長は50msです。また警報時のサイレン出力は３０秒間の間に６秒の連続した信号と２秒間の休止を繰り返します。

「**ホーン3**」を選択した場合、チャープ時の信号長は100msです。また警報時のサイレン出力は３０秒間の間に６秒の連続した信号と２秒間の休止を繰り返します。

2. ドアロック信号選択

※ 製品装着後は変更しないでください。

「**0.8s**」を選択した場合、ロック／アンロック信号としてそれぞれ0.8s間内部ドアロックリレーが動作します。

「**5s**」を選択した場合、ロック／アンロック信号としてそれぞれ5s間内部ドアロックリレーが動作します。

「**ダブル**」を選択した場合、ロック信号としてロックリレーが0.8s間の動作を１回行います。アンロック信号はアンロックリレーが0.8s間の動作を２回繰り返します。

「**ロック30s**」を選択した場合、ロック信号としてロックリレーが30s間の動作を１回行います。アンロック信号はアンロックリレーが0.8s間の動作を行います。

3. イグニッション連動ドアロック

「**OFF**」を選択した場合、イグニッション連動ドアロック機能は動作しません。

「**※1**」を選択した場合、セキュリティ解除中にイグニッションをONからOFFにするとただちにドアをアンロックします。イグニッションをOFFからONにしても信号は出ません。

「**※2**」を選択した場合、セキュリティ解除中にイグニッションをONすると10秒後にドアをロックし、イグニッションを解除すると同時にドアをアンロックします。

「**※3**」を選択した場合、セキュリティ解除中にイグニッションをONすると30秒後にドアをロックし、イグニッションを解除すると同時にドアをアンロックします。

※ ドアロック／アンロック線が接続されてい無い場合は利用できません。
※ ドアが開いている状態又は、ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できません。

4. オート・アーム／リアーム

オートアームはイグニッションOFF後　最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると自動的にセキュリティをセットします。（ドアロックは行いません）
オートリアームはセキュリティ解除後30秒以内にドアが開けられるか、イグニッションがONされない場合に自動的にセキュリティを再セットします。

※　ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できません。

「**OFF**」を選択した場合、オートアームおよびオートリアーム機能は働きません。

「※**4**」を選択した場合、オートアーム機能=**OFF**、オートリアーム機能=**ON**となります。

「※**5**」を選択した場合、オートアーム機能=**ON**、オートリアーム機能=**OFF**となります。

「※**6**」を選択した場合、オートアーム機能=**ON**、オートリアーム機能=**ON**となります。

ヒント

※ オートアームがON設定された場合には、ドアが締められた際に一回チャープ音を発します。
これは２０秒後にセキュリティが自動的にセットされることをユーザーに通知するためのリマインダー機能です。（このチャープ音は消音することは出来ません。）

※ 一時的にオートアーム機能を使用したくない場合には、エンジンを停止する前にドアを開けてください。ドアを開けたままエンジンを停止し、その後ドアを占めた場合にはオートアーム機能は働きません。

5. Exit ディレータイムセレクション

「**5秒**」を選択した場合、システムセット後５秒で全てのセクター（IG、ドア、トランク、ボンネット、センサー）の監視を開始します。

「**３０秒**」を選択した場合、システムセット後５秒でIG、センサーの監視を開始し、30秒後にドア、トランク、ボンネットの監視を開始します。

「**６０秒**」を選択した場合、システムセット後５秒でIG、センサーの監視を開始し、60秒後にドア、トランク、ボンネットの監視を開始します。

「**１５分**」を選択した場合、システムセット後５秒でIG、センサーの監視を開始し、15分後にドア、トランク、ボンネットの監視を開始します。

6. リモートスタート中確認動作（エンスタ連動ライト）

「**OFF**」を選択した場合、リモートスタート中確認動作は行われません。

「**フラッシュ**」を選択した場合、システム警戒状態でエンジン始動中はハザードが５秒に1回点滅します。

※この機能はエンジンスターター「対応」設定されている場合に有効です。

7. IG ON中ドア開検知

「**OFF**」を選択した場合、IG ON中ドア開検知は行われません。

「**ON**」を選択した場合、エンジン始動中にドアが開けられると１０秒間、またはドアが閉められるまでハザードを点滅させます。

ヒント

※ この設定に関わらずエンジン始動中にドアが開けられた場合は動作確認LEDが点滅します。

8. 自動スタータ停止機能

※ この機能はオプションのスタータ停止リレーを接続した場合にのみ使用出来ます。
[専用スターターキルリレー： JD2912-1Z　￥1,575（税込）]

「**OFF**」を選択した場合、自動スタータ停止機能は作動しません。

「**ON**」を選択した場合、エンジン停止後30秒で自動的にスタータ停止機能が作動を開始します。スタータ停止機能はセキュリティのセット／解除の状態とは独立して作動します。

ヒント

※ 一旦　自動スタータ停止動作が開始された場合（セキュリティがセットされていない状態時）には、手元のリモコンを使って一度セキュリティをセットしてから解除しなければエンジンの始動を行う事は出来ません。

9. スタータ停止リレー N.C. ／ N.O.

※ この項目はオプションのスタータ停止リレーを接続する場合の説明です。

「**N.C.**」を選択した場合、スタータリレーのN.C.回路（付属スタータ停止リレーの青／白色線）を使用して取付を行います（この場合青／赤線は使用しませんので、絶縁処理を行ってください）。N.C.回路を使用した取付を行うとセキュリティセット中にエンジンの始動が出来なくなります。ただし、セキュリティの電源が外されたり、スタータ停止リレーとセキュリティ本体との接続が切断された場合はエンジンの始動が可能となります。

「**N.O**」を選択した場合、スタータリレーのN.O.回路（付属スタータ停止リレーの青／赤色線）を使用して取付を行います（この場合青／白線は使用しませんので、絶縁処理を行ってください）。N.O.回路を使用した取付を行うとセキュリティセット中にエンジンの始動が出来ないだけでなく、セキュリティの電源が外されたり、スタータ停止リレーとセキュリティ本体との接続が切断された場合にもエンジンが始動できなくなります。（セキュリティレベルが高くなります。）

注意！

N.O.を選択した場合には製品検査／修理時は配線の処理が必要となります。

10. IIPトリガー（エンスタ対応条件）

インテリジェントIGプロテクト（IIP）機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア信号またはセンサー信号により異常発報すると、その後再度警戒セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードする機能です。ここではエンスタ対応から自動的にプロテクトモードに変更するトリガー条件を選択することができます。

「**OFF**」を選択した場合、エンジン始動中にセキュリティをセットすることはできません。また、セキュリティのセット中にエンジンが始動された場合には直ちに異常発報を行います。

ヒント

※ エンジン始動中（IG ON中）にリモコンのボタン I ～ III を押すとドアのロック／アンロックのみが行われ、セキュリティはセット状態にはなりません。

「**対応※7**」を選択した場合、エンジン始動中はドア、トランク及びボンネット検知以外では異常発報しないため、エンジンスタータ／ターボタイマーとの併用が可能です。また、エンスタ対応からプロテクトモードへの自動切替えはドア、トランク、ボンネット、センサー検知のいずれの異常発報でも行われます。

「**対応※8**」を選択した場合、エンジン始動中はドア、トランク及びボンネット検知以外では異常発報しないため、エンジンスタータ／ターボタイマーとの併用が可能です。また、エンスタ対応からプロテクトモードへの自動切替えはドア、トランク、ボンネット検知のいずれかの異常発報で行われ、センサーでの異常発報ではモード切替しません。

11. エクステリアイルミネーション（解除点灯機能）

「OFF」を選択した場合、セキュリティ解除時のエクステリアイルミネーション動作は行いません。

「ON」を選択した場合、解除時のハザード点滅（3回）後ハザードが点灯します。ハザードは30秒間またはドアが開くか、IGがONになるまで点灯します。

※ ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できません。

その他の機能

ハザードの点滅

セキュリティセット時→1回点滅、警戒開始時→1回点滅、サイレン鳴動中→30秒間点滅、警戒解除時3回点滅、警告時→5回点滅、エラーチャープ時→２回点滅、状況確認時→3回点滅。

セクターバイパス（SBS）機能

同じセクターにより10回異常発報した場合、そのセクターは周囲への迷惑を防止するため11回目以降はバイパスされ反応しなくなります。バイパスを解除するには一度システムを解除し、再度警戒状態にセットする必要があります。
※セクターとはドア、トランク、ボンネット、IG、センサー等の監視箇所のことです。

レジューム機能

本システムにはレジューム機能が搭載されています。レジューム機能とはシステムの電源が切断される前の状態により、電源復帰後の状態を決定する機能のことです。
電源切断前の状態が解除の場合、次に電源が接続された際にシステムは解除の状態で立ち上がります。電源切断前の状態が解除以外の場合、次に電源が接続された際にシステムは異常発報（サイレン音有り）の状態で立ち上がります。

トランクリリース機能（オプション）

本システムに搭載されている外部出力信号を使用することでページャーリモコンからの操作でトランクを開ける等の操作ができます。
このような機能を使用するには別途接続が必要となりますので、取付店にご相談ください。

リモコン登録方法

本製品はリモコンを任意で最大4個（標準付属のリモコン以外に3個）まで登録可能です。
リモコンの登録は下記手順に従って行うことができます。（リモコン品番：TR53A-7X）

<table>
<tr><th>手順</th><th>作業内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>イグニッション・キーをONポジションへ動かします</td></tr>
<tr><td>2</td><td>プログラムスイッチを押し続けます</td></tr>
<tr><td colspan="2">手順２で６秒程度スイッチを押し続けるとチャープ音が４回発せられます。
（チャープ音が鳴ったらすぐにスイッチを放します）</td></tr>
<tr><td>3</td><td>５秒以内にページャーリモコンの ボタンと ボタンを同時に押し続けます</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャープ音が一度鳴ったらボタンを放してください。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>同時に登録したい別のリモコンがある場合には、手順３を繰り返します。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>イグニッション・キーをOFFポジションへ戻します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハザードが５回点滅し登録モードが終了した事を知らせます。</td></tr>
</table>

注意！

上記のリモコン登録手順１～４を終了すると登録操作をする前のリモコンは全て登録が抹消されます。複数個のリモコンを同時に使用したい場合には必ず全てのリモコンを１回の登録操作内に行ってください。

ヒント

６秒以上何も操作をしない状態が続くと自動的にリモコン登録モードを終了します。この際確認のためチャープ音が５回鳴ります。

ヒント

複数個のページャーリモコンを登録した場合には最後にシステムを操作したページャーリモコンに対してのみアンサーバックが行われます。

緊急リセットコード変更方法

本製品は電池切れや紛失等でリモコンが使用不可能な場合に、緊急リセットによりシステムをリセット(解除)することができる機能を搭載しています。
セキュリティ性向上のため本製品をご使用される前に必ず緊急リセット用コードの変更を下記手順に従って行ってください。

緊急リセットコードは下記のように2桁(2つ)の数字によって構成されます。緊急リセットコードの変更／登録や緊急リセットコードを使用した解除は必ず十の位と一の位を順番にセットする必要があります。

十の位	一の位
X(工場出荷時"1")	Y(工場出荷時"1")

手順	作業内容
1	リモコンによりシステムを解除後ｲｸﾞﾆｯｼｮﾝｷｰをONポジションへ動かします
2	プログラムスイッチを早めに「8回」押します
3	手順2終了後すぐにイグニッション・キーOFFポジションへ戻します
	チャープ音が8回発せられます
4	プログラムボタンを1回押します(X:十の位の設定)
	リモコンのボタンを使い番号を設定します。 それぞれのボタンに割り当てられた数は次の通りです Ⅰ =1 : Ⅱ =2 : Ⅲ =3 : [icon] =4
	設定した数と同じ回数のチャープ音が鳴り、設定数の確認が行われます
5	プログラムボタンを1回押します(Y:一の位の設定)
	リモコンのボタンを使い番号を設定します それぞれのボタンに割り当てられた数は次の通りです Ⅰ =1 : Ⅱ =2 : Ⅲ =3 : [icon] =4
	設定した数と同じ回数のチャープ音が鳴り、設定数の確認が行われます
	登録作業終了です

注意!

・登録した緊急リセットコードは絶対に忘れないようにしてください。

ヒント

緊急リセットコードを使用したシステムの解除方法は取扱説明書の12頁、を参照してください。

緊急リセットコードの初期化（工場出荷状態の復帰）

緊急リセットコードは次の手順で工場出荷状態"11"に戻す事ができます。

手順	作業内容
1	イグニッション・キーをONポジションへ動かします
2	システムの電源を遮断します（ヒューズ等を抜いて電源を一旦落とす）
3	プログラムボタンを押しながら電源を接続し、プログラムボタンは押したままにします
上記手順（電源を接続）後プログラムボタンを５秒押し続けると、チャープ音が４回鳴り緊急リセットコードが工場出荷時の"11"にリセットされた事を知らせます	
作業終了です	

システムリセット（工場出荷状態の復帰）

本製品は何らかの理由でシステムの動作に異常が見られた場合に、全ての設定を工場出荷状態に戻すことのできるシステムリセット機能を搭載しています。システムのリセット作業は下記手順に従って行ってください。

手順	作業内容
1	リモコンを使って一度セキュリティをセットした後すぐに解除します
2	解除後10秒以内にイグニッション・キーをONポジションへ動かします
3	プログラムボタンを１０回押します
4	上記手順３終了後ただちにイグニッション・キーをOFFポジションに戻します。
チャープ音が１０回鳴り、同時に動作確認LEDが１０回点滅します	
5	プログラムボタンを1度押します。
チャープ音が１回鳴ります	
6	ページャーリモコンの I ボタンを一度押します
7	再度イグニッションキーをON／OFFします
システムリセット終了の確認のためハザードが5回点滅します。	

ページャーに関する事項

TR53A-7Xページャーリモコンは精密機器であるため振動や衝撃、ほこり、湿気等に対して非常にデリケートな製品です。本頁ではページャーの取扱い上特に注意すべき点を紹介していますので、良く読んで正しくお使いください。。

液漏れについて

アルカリ電池はその性質上過放電が起きた場合には液漏れを起こします。一旦液漏れが発生すると、ページャーリモコンの内部回路や部品がその液により腐食し修理による性能の回復が困難となります。
ページャーリモコンを長期間使用しない場合には電池を抜いた状態で保存するようにしてください。残量の少ない電池を入れたまま2週間以上放置したり、電池残量の少ない状態で使用し続けたりすると過放電により液漏れを起こす危険度が高くなります。

液晶画面表示

ページャーの液晶画面は画面を見る際の角度によって本来表示されるべき以外のアイコンが見えることがありますが、異常ではありません。
※ 特に斜め方向から覗き込むと関係ないアイコンが見える場合があります。

電池交換

電池交換を行うとまれに関係ないアイコンが表示されることがあります。これはページャーの電池を抜いてもしばらくの間回路内に残存電圧があるために起こる現象です。このような症状が出た場合には「一旦電池を抜き、電池が入っていない状態でボタン（どのボタンでも良い）を３秒ほど押します」。その後再度電池を入れてください。

通知と操作のタイミング

警告通知時または異常発報時には、通知開始から数秒間は常に車両システムが送信状態、ページャー側が受信状態となります。このため通知開始数秒間はページャーからの操作はできません。
また、ページャーのボタン操作をしている間（ボタンを押している間）はページャーは送信状態となっていますので、この間は車両側からの通知を受信することができません。セット／解除時のボタン操作を必要以上に長く行うと、車両側からの通知（アンサーバック）を受信できません。この場合「車両側は正しくセットされているのにページャー側は正しく反応しない」という状態になることがあり、これを故障とまちがえることがありますが異常ではありません。再度システムをセット／解除することによってページャーの液晶表示は正しく更新されます。

ページャーに関する事項（続き）

通信距離

本製品は車載送受信ユニットとページャー間の通信に電波を使用しているため、製品を使用する周囲の電波環境や設置環境からの影響を強く受けます。特に警告通知や異常発報通知時の車載器からページャーへの通信は影響を受けやすくなります。ページャーのアンテナ部分が金属物に触れていたり、人間が触っていたりすると普段は問題なく受信できている距離でも受信できなくなることがあります。
また、テレビ塔や携帯電話の中継基地、警察署、消防署、トラックターミナル、タクシー会社等の強い電波を発している場所の近くでは、ページャーでの受信のみならず操作も出来ない場合があります。
さらに携帯電話やインテリジェント／スマートキー等、常に電波を発している機器と接した状態（例えばインテリジェント／スマートキーとページャーリモコンがキーホルダーで束ねられている、または接している状態）ではページャーリモコンでの操作および受信が出来ない事があります。また、このような状態ではインテリジェント／スマートキーを使用したエンジンの始動ができないことがあります。

取扱い

ページャーリモコンは振動、衝撃に対して非常にデリケートな製品です。小さな振動や衝撃でも長時間に渡り連続／断続的に加えられたり、ほこりの多い場所や湿気の多い場所で長時間使用した場合にはページャーリモコンは破損します。振動や衝撃により破損した場合の主な症状としては「アンサーバック（通知）しなくなる」、「液晶表示がおかしくなる」等があげられます。

保管について

ページャー内部にホコリ等が侵入すると故障の原因となりますので、ポケットの中等のホコリが多い場所には保管しないようにしてください。

付属の電池について

製品に同梱の電池は動作確認用です。製品同梱の電池は寿命が短い事がありますが異常ではありません。単４アルカリ乾電池を新たに購入してご使用ください。

Q & A

Q1 :車を点検に出したらリモコンが効かなくなった！

A1 :車両点検作業の際にバッテリーを外す等して電源ラインにノイズが発生すると、まれにリモコンのメモリーが消えてしまうことがあります。バッテリーを外す前に、必ず本体のメインカプラーを抜いてから作業を行って下さい。
☞システムセット中に効かなくなった場合には緊急解除コードを使用してセキュリティを解除します。すぐに続けてリモコン登録モードに入り、リモコンの再登録を行ってください。（本説明書２３頁リモコン登録方法を参照）

Q2 :リモコンを紛失して不正利用されるのが不安！

A2 :☞本製品ではリモコン登録の方法として、よりセキュリティ性の高いオールリセット方式を採用しています。この方式ではリモコン登録時に登録されている全てのリモコンIDが消去され、新たに登録されたリモコンのみが利用可能となります。
本書26頁を参照してリモコンの再登録を行ってください。紛失したリモコンではシステムを操作できなくなります。

Q3 :出先でリモコンを紛失してしまった！

A3 :緊急解除コードを使用してセキュリティを解除することができます。解除方法は本説明書12ページの「緊急（緊急リセットコードによる）解除」を参照してください。

Q4 :リモコンの電池が切れてしまった！

A4 :本製品のTR53A-7Xページャーリモコンには市販の単４型アルカリ乾電池が使用されています。お近くのコンビニエンスストアやホームセンター等でお買い求めください。

Q5 :セキュリティはセットされているのに何も反応しない！

A5 :セキュリティセットの際にリモコンボタンCH2を使用していませんか？
CH2を使用するとシステムはサイレントモードでセットされるため取付内容によっては何も反応していないように感じることがあります。（本説明書15ページ「サイレントモードのセット」をご参照ください。）

Q6 : **超音波センサーを併用しているが、軽い衝撃でサイレンが鳴ってしまう！**

A6 : 超音波センサーの設置箇所が衝撃センサーや車載送受信アンテナ、これらのハーネスに近すぎるために干渉し合っている可能性があります。それら機器との設置距離を30cm以上あけてください。
又、車載送受信アンテナのハーネスはメインユニット接続ハーネスや、センサーハーネスと一緒に束ねないでください。

Q7 : **異常発報時にリモコン操作ができない！**

A7 : 警告通知時または異常発報時には、通知開始から数秒間は常に車両システムが送信状態、ページャー側が受信状態となるためにページャーリモコンからの操作はできません。

Q8 : **本体の動作がおかしい！**

A8 : 突然ページャーリモコンによる送信をシステム本体が受け付けなくなったり、本体からのアンサーバックをページャーが受け付けなくなった場合にはシステムリセットを行ってください。（本説明書25頁参照）
何らかの原因でリモコンのIDが消えたりするとこのような現象を起こす可能性があります。このような現象はバッテリーの交換や電装品を新たに取付けた際等に発生するスパークノイズ等によって引き起こされる場合があり、他の設定にも影響を及ぼしている可能性がありますので、リモコンの再登録ではなくシステムリセットを行ってください。

Q9 : **ページャーの表示がおかしい！**

A9 : ページャーリモコンに使用している電池の電圧が下がりすぎてしまったり（電池交換アイコンがついているにもかかわらず使い続けた）ページャーを落とす等して衝撃を加えた際に電池が一瞬電池ホルダーから離れたり、電池ホルダーに酸化皮膜が出来る等してページャー内の電源電圧が低くなりすぎた場合には液晶表示がおかしくなる事があります。このような場合にはページャーリモコンから一度電池を抜き、 ボタンを押してから電池を入れてください。

Q10 : **機能設定モードへ入れない！**

A10 : プログラムスイッチは正しく作動していますか？
スイッチを押したときに動作確認LEDが光れば正常です。

タイムオーバーになっていませんか？
プログラムスイッチを押した後イグニッションの操作までの時間が開くとタイムオーバーになってしまいます。

Q11 : **緊急リセットコード変更モードに入れない！**

A11 : 上記 A10.と同様です。

Q12 : **緊急リセットが効かない！**

A12 : 上記 A10.と同様です。

Q13 : **操作（アンサーバック）ができない。操作（アンサーバック）距離が短い**

A13 : 以下の理由により車載送受信アンテナの通信エラーが考えられます。

●電源の容量不足による不安定動作
アース不良や電源線の接触不良はありませんか？
サイレン、ドアロックの電源をメイン電源と同じポイントに接続していませんか？

●バッテリを交換しましたか？
バッテリ交換時のスパークノイズによってリモコンＩＤが消えることがあります。

●車載送受信アンテナが直射日光の当たる場所に設置してありませんか？
アンテナに直射日光に当たることで高温になり、周波数が変動し通信できなくなります。

これらの症状を確認、改善するには以下の作業を行ってください。

●送受信アンテナのハーネスを（両サイド共に）一旦抜いて、再度しっかりと挿してください。

●受信アンテナをハーネスから抜き、１分ほど放置してから差し込んでください。

仕様一覧

セキュリティ本体仕様：

項目	仕様
技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
定格電圧	DC12V
消費電流	待機時5mA、警報時約1A
動作周囲温度	-40℃　～　85℃
保護構造	IP40

ページャーリモコン（TR53A-7X）仕様：

項目	仕様
技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
リモコン電池	アルカリ単４乾電池　１個
リモコン電池平均寿命	通常使用で約1～2ヶ月
リモコン操作距離	見通し最大1000m
IDコード数	7,378京通り以上
IDコード保護機能	ローリングコード
保護構造	なし

衝撃センサー仕様：

項目	仕様
定格電圧	DC12V
消費電流	約6.0mA
動作周囲温度	-40℃　～　85℃
振動検知方式	赤外線方式
保護構造	IP40

サイレン仕様：

項目	仕様
定格電圧	DC12V
消費電流	警報時約1A
動作周囲温度	-40℃　～　125℃
保護構造	IP54

《保証・無料修理規定》

1:本製品の保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2:取り扱い説明書の注意に従った正常な使用状態で保証期間中に万一故障した場合は、お買い上げの販売店にて無料修理いたします。
ただし、出張修理の場合は実費を申し受けます。

3:保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店にてご依頼ください。保証書のない場合には保証対象外となります。又、必ずご購入レシートを添付して下さい。

4:ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社へ直接お送りください。

5:本製品は持ち込み修理品となりますので、商品をお送りいただく際の送料及び取外し、取付費用は、お客様のご負担にてお願い申し上げます。

6:保証期間内でも次の場合は有償となります。
●リモコン電池等の消耗品の交換
●リモコン電池の液漏れによる故障及び破損
●水、ホコリ、油等による故障及び破損
●使用上、取付上の誤り、不注意による故障及び損傷
●不当な修理、改造による故障及び損傷
●お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
●火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害等による故障及び損傷
●普通乗用車以外に使用された場合の故障及び損傷
●本書のご提示がない場合または保証書記載事項に不備のある場合
●本書にお買上げ日、購入者名、販売店名の記入のない場合、字句を書き換えた場合

7:本書は日本国内においてのみ有効です。(This warrenty is valid only in Japan)

8:本書は再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

注意!

・この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
・保証期間経過後の修理等についてご不明な点は、お買上げの販売店へお問い合わせください。
・各記入欄に必要事項の記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認の上漏れ事項がある場合は、直ちにお買上げの販売店にてお申し付けください。

店　舗　専　用

店　舗　専　用

店　舗　専　用

店　舗　専　用

発売元　辰巳屋興業株式会社
〒466-8711　愛知県名古屋市昭和区白金三丁目20番地15号
製造元　株式会社キラメック（VISION JAPAN）
〒475-0936　愛知県半田市板山町9丁目183番地1